

第2期「安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(案)に関する
パブリックコメントの結果について

○意見等の募集期間：令和2年12月11日(金)～令和3年1月8日(金)

○意見等の受付件数：3人 3件

(提出方法の内訳：持参1人、電子メール2人)

1. 意見等の概要及び市の考え方

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>スポーツセンターを直接窓口にしたスポーツ講座や失業者のスキルアップなどの公民館活動(コンテンツ)を増やしたらどうか。</p>	<p>第2次安中市総合計画においても5年間の取組の方針として、「市民と社会のニーズに即した各種講座の開催により、市民の自己啓発や自己実現、人と人とのつながりの深化を図ります。」と位置づけており、いただきましたご意見を参考に、講座や公民館活動の検討を行って参ります。</p>
2	<p>現在のままでは、折角ある首都に直通する新幹線の駅が十分活用されていない。企業誘致ができれば一番であるが、コロナ禍においてリモートワークが普及してきている。利用者を増やして、停車本数を増やさないと不便であるが、駅には無料駐車場などの利点がある。</p> <p>南側駅前には立派な住宅地が並んでいるが、北側は管理に問題をはらむ太陽光発電ばかり過疎地のように放置されている。</p> <p>全国の新幹線駅近くの利用状況調査や徳島県が早期にAIインフラ整備をしたことによる企業誘致、いろいろな所で空き家空き地情報を発信していることなどを参考にしてはどうか。桐生市は移住者への手厚い援助をして人を集めているようである。</p>	<p>本市は、北陸新幹線安中榛名駅を保有しており、近隣の都市部へのアクセスも比較的容易で、職住近接も可能な立地が魅力の一つとなっております。</p> <p>人口減少に対応した適正な土地利用の展開に向け、群馬県が策定した「県央広域都市計画圏都市計画区域マスタープラン」や本市の「安中市都市計画マスタープラン」に基づき、いただきましたご意見を参考に、新幹線駅前の住宅、商業、工業のバランスのとれた有効な土地利用を推進して参ります。</p> <p>また、「安中市における太陽光発電設備の設置に関する条例」に基づき、急傾斜等の自然災害の危険性が高い地域への無秩序な太陽光発電設備の設置抑制を図るなど、対策を講じて参</p>

	<p>安中市が今すでに持っている可能性について、都市部に向けて情報発信を行い、更なる発展をしていただきたい。</p>	<p>ります。 全国の好事例について情報収集を行い、土地利用の適正化や企業誘致、空き家・空き地の利活用について検討を行って参ります。 都市部に向けての情報発信につきましては、情報受発信手段・手法の社会的な動向を踏まえ、より利用しやすく、分かりやすい情報発信に努めて参ります。</p>
<p>3</p>	<p>現状、市内に住む若い世代は、就職時にチャンスが得やすい都会に出ていく傾向がある。若い世代に将来も引き続き市内に定住してもらうためには、仕事を得られる環境を整える必要がある。 今の時代に求められる仕事を得られる環境は、起業しやすい環境、起業後もサポートを得やすい環境、柔軟な働き方が得られる環境、他社との事業のコラボレーションが起こりやすい環境である。安中榛名駅前にある使用されていない施設(旧コミュニティプラザ)を活用して、市内居住者向けに、カフェを併設した情報発信拠点、研修室・会議室を備えるテレワークセンターやシェアオフィスとして活用してはどうか。</p>	<p>第2期総合戦略においても、展開方針2施策2「安中市への移住・定住支援」として位置づけておりますとおり、安定的な雇用を確保するために取組を行って参ります。 また、展開方針1施策1「市内で働く人を増やす就職支援」において、誰もが働きやすい労働環境の整備を行うとともに、施策4「創業や経営革新に対する支援」として、新産業創出や経営革新を促進し、創業間もない企業の安定成長のため継続的な支援を行って参ります。 旧コミュニティプラザの活用につきましては、いただいた活用案も参考に地域活性化への貢献などを含めて、民間事業者への賃貸などの検討を行って参ります。</p>

【問合せ】

安中市役所総務部企画課企画調整係

電話：027-382-1111（内線 1635）

Eメール：kikaku@city.annaka.lg.jp